



市議会だより



◀広域消防についてー群馬県渋川広域消防本部
(総務文教消防委員会・平成25年 5月15日)

▼災害時等要援護者支援制度についてー福岡県大牟田市
(産業厚生建設委員会・平成25年 6月26日)



◀津波避難タワーについてー静岡県御前崎市
(災害に強いまちづくり検討特別委員会・平成25年 5月21日)

各委員会行政視察

平成25年6月定例会一覧

○議案の審議結果				○委員会				○本会議（主な内容）			
予 算（原案可決）	2 件	7・14・20 日	議会運営委員会	7 日	会期の決定	開 会	6月7日	開 会	6月7日	開 会	6月7日
条 例（原案可決）	5 件	17 日	総務文教消防委員会	14 日	提案理由説明	閉 会	6月20日	閉 会	6月20日	開 会	6月20日
そ の 他（原案可決）	4 件	18 日	産業厚生建設委員会	20 日	補足説明	会期14日間					
人 事（原案同意）	1 件			14 日	代表質問・一般質問						
議員提出（原案可決）	2 件			13 日	一般質問						
合 計	14 件			20 日	議案の委員会付託						
					委員長報告・質疑・討論・採決						
					追加提案						
					提案理由説明・採決						
					議員提出議案						
					提案理由説明・質疑・討論・採決						
					議員派遣						
					閉会中の継続審査						

◆ 6月定例会 平成25年度一般会計補正予算 (4億318万7千円) 外9市長提出議案を可決 ◆ 議員提出議案「滑川市議会議員定数条例の 一部を改正する条例の制定について」を可決 ⇒ 定数16人から15人へ(次回選挙から)

本会議

6月定例会

市議会6月定例会は、6月7日から20日までの14日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成25年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案10件(追加議案1件を含む)、議員提出議案2件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計14件です。

審議の結果、市長提出議案の10件は原案どおり可決または同意されました。また、議員提出議案の2件、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

◇6月7日に本会議を開き、まず会期を20日までの14日間と決めた後に、平成25年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案9件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇13日、14日は代表質問及び一般質問が行われ、14名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の20日には本会議を再開し、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第45号及び議案第52号に対する反対討論があり、続いて議案第47号に対する反対討論が各1名の議員からありました。

分離採決の結果、議案第45号、議案第47号及び議案第52号について

は、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決され、その他の6議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり、賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市監査委員に石倉勝巳氏(密木)の選任について追加提案され、賛成多数で同意することに決しました。

続いて議員提出議案2件の提案理由説明の後、議員提出議案第7号に対し、2名の議員から反対討論があり、採決を行い可決しました。

最後に議員派遣及び議会運営委員会の閉会中の継続審査を議決して、6月定例会を閉会といたしました。

第2回臨時会

平成25年第2回市議会臨時会は、会期を4月30日の1日間と決めた後に、工事請負契約の締結についてなどの市長提出議案2件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、各常任委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、各委員長の報告のとおり、賛成全員で可決されました。

引き続き、滑川中新川地区広域情報事務組合

◇滑川中新川地区広域情報事務組合
議会議員

水野 達夫 石倉 正樹
古沢 利之 中川 勲

第3回臨時会

平成25年第3回市議会臨時会は、会期を5月28日の1日間と決めた後に、工事請負契約の締結についての市長提出議案1件が上程され、市長から提案理由の説明がありました。

次に、市長提出議案を所管の総務文教消防委員会へ付託しました。

その後、本会議を再開し、総務文教消防委員長から付託議案の審査結果の報告があり、採決の結果、委員長の報告のとおり、賛成全員で可決され、第3回臨時会を閉会といたしました。

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会第89回定期総会が去る5月22日、日比谷公会堂で開催され、永年勤続議員(15年)として、砂原孝議員が表彰されました。

日誌

25年5月

鹿兒島県南九州市議会より

行政視察

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

14日 富山地区広域圏事務組合

議員協議会、臨時議会

15日

総務文教消防委員会

行政視察（群馬・栃木県）

18日 東京滑川会総会（東京都）

富山高山連絡道路（国道41号）

整備促進期成同盟会、富山外

郭環状道路整備促進期成同盟

会合同総会（富山市）

21日 議会運営委員会

北陸新幹線建設促進大会、

同盟会総会（東京都）

県選出国会議員との懇談会

21日

災害に強いまちづくり

検討特別委員会行政視察

22日

全国市議会議長会第89回

定期総会（静岡県）

27日

自治会連合会との懇談会

新川育成牧場組合議会

臨時会、新川畜産公社

28日

全員協議会

第3回臨時会

29日

第106回市議会議員共済会

代議員会（東京都）

30日

富山地域衛生組合臨時議会

31日

議会運営委員会

6月

定例議員協議会

7日 6月定例会

20日 議会報編集委員会

25日 産業厚生建設委員会

行政視察（鹿兒島・福岡県）

27日 兵庫県たつの市議会より

行政視察

29日 関西滑川会総会（大阪府）

7月

8日 定例議員協議会

議会報編集委員会

12日 朝日滑川間国道・バイパス建設

促進期成同盟会通常総会

東部山麓道路建設促進期成

同盟会総会（魚津市）

16日 議会運営委員会

議会報編集委員会

19日 富山県東部消防組合議会

臨時会（魚津市）

23日 沖田川治水対策促進期成

同盟会総会

23日 全員協議会

第4回臨時会

代表一般質問

6月定例会では14名の議員が質問を行い、46項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、9月中旬頃までには、市立図書館に配付する予定です。）

また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



1 市内のスポーツ施設の活用について
2 新幹線開業に伴う諸問題について
3 歴史的遺産の保存について

（会派「一心クラブ」） 岩 城 晶 巳 議員

Q サッカー場5面、野球場3面と県内では例のない充実された市。市の活性化に繋がる利用方法は。

A 石川教育長 滑川市で多くのスポーツ施設が完成あるいは完成を迎えるというところで、非常にありがたく思っている。体育協会とか各競技団体とも連携をしながら、各種団体の誘致、アスリートの招聘、各種イベントを企画することが非常に大事である。このようなコンベンションを行うときには、開催の支援補助金というものができ、これらも活用しながら大会を招致することによって滑川市を市内外に発信し、市の活性化の一助となるように努めてまいりたい。

Q 全国大会など各種大会を誘致すべきではないか。

A 石川教育長 宿泊や輸送の課題もあり、例えば宿泊は青雲閣を活用するとか、市内にあるいろんな施設を活用し、競技団体と連携しながら誘致に努めてまいりたい。

Q 滑川市が要望している新駅の設置場所について、日医エススポーツアカデミーの近くしかないのでは。

A 小幡総務部長 市議会の皆さんと新駅の設置の可能性や候補地の選定などを検討しているが、問題も多いところであり、困難であると考えているが、県や並行在来線会社に強く働きかけてまいりたい。

Q 東滑川駅の跨線橋設置は現状では難しい。緊急課題はプラットホームの屋根の増築と考えるが、所見を伺う。

A 小幡総務部長 跨線橋を設置する場合、法令によりエレベーター設置が義務づけられるなど費用がかかり、整備は難しいものと考えている。利用者の利便性確保のためには、プラットホームの屋根の増築については、非常に大事なことで思っている。働きかけてまいりたい。

Q 早月幼稚園グラウンドにある千年桜の保存について

A 石川教育長 衰弱の進行を防ぐための応急措置として、腐朽部の処理や防腐剤塗布等を施した。今後とも地元の熱意を十分に受けとめていきたい。

その他の質問事項

Q 新川育成牧場の今後について

Q 養鶏場建設問題について

一般質問



1 子どもの教育について
2 子どもの事故について
3 東部消防組合となつての火災・救急の対応について

高橋 久 光議員

Q 親として子どもに対しての思いや望みは無限であり、きずなは永遠、大事な子どもたちの成長期における教育の一端を担う行政、当局としての指導方針、思いを伺う。

A 砂田子ども課長 幼児期の教育は、家庭と幼稚園、保育園等が連携し、一人ひとりの育ちを促していくことが大切であると思っている。

Q 保護者と幼稚園、保育園とのかわりについて、思いを市民の方々にきちんとこの場で示され、確認の意味で当局の皆さんの意見を再度お願いする。

A 砂田子ども課長 保護者が安心して子どもを預けられるよう保護者との信頼関係を築くことが大切であると思っている。

Q 小学校、中学校の知識はどこまで伸びるか。子

どもたちの知識は学校や習い事でどこまでも伸びると勘違いしている親御さんもあると思う。どこまで伸ばせるか、伸びるかの思いを聞かせていただきたい。

A 坂口学務課長 子どもたちの学力には個人差があるのは言うまでもない。その個人差を考慮し、一人ひとりを伸ばしていくかなければならないと強く感じている。

Q 教育、学校問題について、体罰、いじめ等の問題はなにか。

A 坂口学務課長 体罰は絶対にあつてはならない。子どもたち、保護者との信頼関係の中で、子どもの健全育成に努めている。

Q 子どもの事故について、乗用車と自転車に乗った子どもが衝突して亡くなられた。安全に対

する指導が行き届いていたのか。

A 石川教育長 子どもの安全・安心は、何にも増して優先されるべき事柄である。交通安全協会に協力いただきながら実際の交通指導も行っている。

Q 東部消防組合となつて、去る5月30日の住宅火災の時は、通報から現場到着までの時間等で変わりはなかったか。

A 川崎消防署長 平成25年度の119番通報は、これまでどおり滑川消防署に入電するので、今までと変わりはない。指令センター運用開始後には、発信地表示システムにより瞬時に災害地点の特定ができ、現場到着時間の短縮が図られるものと考えている。

一般質問



1 深層水利活用施設の今後の方針について
2 中滑川駅周辺の土地利用計画について
3 水源地の保護について

水野 達 夫議員

Q タラソピアの機械設備の腐食状況や建物本体の劣化やびび割れを改めて見て、今後の方針を早急に示すべきではないか。

A 網谷商工水産課長 建設から15年が経過しており、施設の老朽化や塩害に伴う大規模改修の必要性などが重要な課題であると認識している。

今後の対応について、まずは建物内部における鉄筋の腐食や含有塩分量の調査を行ったうえ、構造体への影響を把握したうえで方針を決定してまいりたい。

Q タラソピアを本当に大規模改修して存続していくのか、はたまた勇気のある決断が必要な時期だと思いがいがか。

A 上田市長 おっしゃる通りだと思うが、決断する材料がもう少しそろわ

ないと決断できない。
Q 中滑川駅周辺の状況変化について説明していただきたい。

A 小幡総務部長 昨年9月の答弁と変わった。地

鉄が新たな駅舎の整備を検討され、少し取り壊しを待つてくれないかということができように至っている。新駅舎は、現在の建物よりも魚津側の入口の方に建設し、バリアフリー構造、出入り口は東側・西側の2カ所、駅務室、待合スペース、トイレを設ける予定である。

Q 農協会館跡地等が雨水を一時貯留しておく適地だと思いがどうか。

A 砂田建設部長 費用対効果を考えると難しいと考えており、そのため今年度から浸水対策事業として側溝の整備を進めている。

Q 県の水資源地域保全条例において、滑川市の第1水源地を指定していただけるよう積極的に動いてはどうか。

A 石坂上下水道課長 県においては、公共用水源の取水地や湧水地について今後、市町村からの要望を受け、本年度下半期以降、順次指定していくこととしている。第1水源

地は、本市の水道水源の中で最も重要な水道水源であると考えており、今後、県から示される具体的な指定範囲を踏まえたうえで指定に向け努力してまいりたい。

その他の質問事項
Q 市民交流プラザ2階の今後の利活用について

一般質問



1 子どもたちの環境について
2 施設の利用率拡大にむけて

開田 晃 江議員

Q 子どもたちが身を守るための緊急会議の内容は。

A 坂口学務課長 各学校における交通安全指導の

確認と低学年に対する指導内容について改めて意識啓発を行った。

Q 肝心の子どもたちや家庭に思いが通じていないのではないか。

A 坂口学務課長 ご指摘は大変大切なことと受け止めている。議員以外に、地域の方などからも

同じような指摘があり、即学校に報告をし、低学年等の児童に指導している。

Q 小学校での自転車に乗るための約束は。

A 坂口学務課長 低学年は保護者の管理のもとで、5、6年生は校区内までの範囲であれば乗ってもよい。また、自転車

点検等も必ず行う。

Q 市内の小学校全児童にヘルメットの着用を提案しては（自分を守る観点から）。

A 坂口学務課長 3校はまだ黄色帽子だが、今後の課題にしていきたい。

Q 新聞に「通学路 安全対策進まず」と載っており、滑川市は未定6力所になっているが、どの箇所か。

A 坂口学務課長 寺家小

学校区の吾妻町五差路から学校へ向かう県道の側溝、市役所近くの踏切の退避場所、田中小学校の正門前県道の歩道改良、

北加積小学校区の歩行者信号設置、大島新交差点の信号点灯時間変更、南部小学校区の通学路の変更の6力所である。

Q ほたるいかミュージアムの利用促進のため、全

面リニューアルを。

A 網谷商工水産課長 市観光検討委員会より、敷地内動線の改善、施設改修、展示内容の検討等の報告を受けている。そこで順次取り組む。

Q どうしてもエレベーターが必要では。

A 網谷商工水産課長 エレベーターにかわるものとして、エスカレーターの整備を含めて今後検討していく。

Q 「あいらぶ湯」の利用促進のため、各種大会のプログラムに入浴割引券を印刷しては。

A 藤田福祉介護課長 本市で開催したとやま森の祭典で初めて実施した。今後、さまざまな大会プログラムを活用し、認知度アップと利用促進に努める。

一般質問



1 商業活性化のための金券活用を
2 ソーシャル・ネットワーキング・サービス活用
による的確な情報発信を
3 滑川市民交流プラザの今後は

高木 悦子 議員

点での検討内容は。

A 熊本企画政策課長 行政情報の発信手段として導入する自治体も増えてきており、計画についてはこれから検討する。

Q ソーシャル・ネットワーキング・サービスは、活用の目的によって、情報の発信の仕方が違う。とりあえずやるではなく、目的を定めておかなければならない。どんな目的でやろうとしているのか。

A 熊本企画政策課長 行政情報全般、観光・イベント情報、災害・防犯等目的も今後検討する。

Q 12月議会で「福祉介護課移転後の市民交流プラザの利用は白紙で、今後関係者と協議しながら検討する」という答弁だったが、関係者とはどのような協議を行ったのか。

A 久保副市長 昨年12月

にエールに行き福祉介護課の移転を伝え「重要な問題に事前に相談がなかった」とお叱りを受けた。

Q 市長の私案で「こども図書館」と3月議会に出され、私案を追認する形でこども図書館が決定になった。内部協議の結果であり、関係者と協議をしてたどり着いた答えとはとても思えない。

A 久保副市長 協議はこれから、意見を伺う。

Q こども図書館は案であって、白紙は白紙なのか。

A 久保副市長 12月は白紙、現在は白紙ではない。

Q これから何十年間、市民交流プラザをどうするか考えるには時間が無い。

A 久保副市長 作業が遅れており申しわけない。

一般質問



1 スポーツ・健康の森公園の維持管理等について
2 市単独事業の発注方法について
3 H26年度重点要望事項について

前田 新作 議員

Q スポーツ・健康の森公園の多目的広場、陸上競技場、ふるさとの森等の施設の維持管理と維持管理費等はどうなるのか。

先ほど述べた個々を足すと1千6百万円となる。

Q 市単独事業の発注方法について、市長は費用対効果が早くあらわれるよう重点を決めて単年度で完了する方針にわかりな

いか。その場合工事費が多くなり市内業者に仕事

Q 多目的広場は指定管理者制度による管理委託を

考えており、芝生広場の維持管理費と水道光熱費等合わせて、4百80万円を見込んでいます。陸上ト

Q ラックは全天候型で当分の間は費用がかからない。インフィールドの芝の管理は多目的広場と違う素材のものを考えており、全国的にも高麗芝が主で当公園も高麗芝を採用している。費用的に4百万円ぐらいが芝の管理にかかる。

ふるさとの森は緑地が多いので、除草費等で2百50万円を想定している。全体の維持管理費は

Q 上田市長 考えには変わりは

はない。仮に1本の道路が長いと、5スパンに区切つて5年かけると、その路線は5年間工事箇所がどこかにあると使う人には不便である。また、細かくするた

Q 海岸整備の促進について、整備内容を具体的に要望されてはどうか。

Q 砂田建設部長 昨年度、

Q 常盤町から三穂町まで、事業が完了した。今年度は橋場から高月までの高

月海岸の事業延長900メートルについて詳細測量と設計が実施される予定である。整備内容は富山県の海岸保全基本計画にそつてなされる。

Q 滑川市において最大7・1メートルの津波が2分間で到達する、吉浦

海岸の整備をどのように考えているのか。

Q 砂田建設部長 吉浦海岸は国土交通省所管の海岸で、富山県の海岸保全基本計画がある。当然、耐震、老朽化対策、津波

シミュレーションなどの調査を実施し、それに見合うような堤防の整備をしていただけるものと考えている。

Q あいらぶ湯、ホール・会議室の利用状況は。

Q 藤田福祉介護課長 あ

Q 藤田福祉介護課長 あ

いらぶ湯の利用者数は平成24年度13万5千人、多目的ホールは9千2百人、研修室は1万3千人、調理実習室は940人、4階休憩室は8千6百人、軽運動室は1万4千人である。

Q 福祉介護課が交流プラザにあると不都合があり本庁舎へ移動するの

か。

Q 藤田福祉介護課長 市民の皆様が窓口で各種事務手続を一括して行う点から、庁舎機能は1カ所に集約されている方がよい。現在は、介護保険受給者や障害者手帳を有している方の転出入に際して、本庁舎と福祉介護課の両方の窓口で手続を行わなければならない。

Q もし福祉介護課を移動

するととなると、あのスペースはどうされるのか。

Q 上田市長 こども図書館と言ったのは、寺家小学校下において放課後児童対策の1つとして、子どもの図書館らしい明るい環境で本が読める図書館として、子育てに関する親の皆さんを対象にしたお話、悩み事を聞く場として安心して子どもを迎え、時間を過ごせる要素を入れた図書館構想を検討している。

Q 認知症の医療・介護の体制はできているのか。

Q 藤田福祉介護課長 市では、地域包括支援センターが平成24年に認知症にやさしい地域づくり支援事業を立ち上げ、徘徊ネットワークや見守り体制の構築、認知症についての普及啓発を行っている。また、地域住民や専

一般質問



1 福祉の拠点市民交流プラザについて
2 高齢者福祉について
3 スポーツ行政について

中川 勲 議員

Q 門職が誰でも集える場として認知症介護者サロン「オレンジサロン」を定期的に開催している。

Q スポーツ・健康の森公園を今後どう活用するか。

Q 嶋川生涯学習・スポーツ課長

既存の周辺体育施設と連携を図ることで、幼児から高齢者までが気軽に利用でき、基礎体力・健康づくり、また競技力向上を目指したアスリートの輩出につながる施策を積極的に検討する。

Q 陸上競技場の活用策は。

Q 上田市長 陸上競技は運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

Q 上田市長 陸上競技は

運動の基礎であり、オフシーズンには足腰を鍛え体力を上げ、自分の競技を頑張る。また、科学的なトレーニングの講習会を開き、指導者養成も兼ねて質を深めていきたい。

一般質問



1 交通安全対策について 2 地域材活用施設整備事業について ・児童館について

中 島 勲議員

Q 交通弱者、特に子どもたちに対する事故防止対策を重点に据えた活動を

策を進めており、こうした活動も継続していききたい。

関係団体・機関と緊密な連携のもとに実施するとあるが、その具体的な内容について、見解を問う。

A 下野生活環境課長 対

策としては、地域、学校、家庭など市民総ぐるみでの交通安全に対する意識の啓発を図っていくことが極めて重要と考えている。現在行っている

児童・生徒への指導に關しては、警察署などの関係団体と連携して、子どもの実態に合った交通指導や定期的な交通安全教室の実施など、内容の充実について検討していきたい。さらに、児童の通

学路の緊急点検を実施し、危険箇所についてはできるところから安全対

Q 通学路に関しては、前々から言われている箇所もあるので、きちっとした対応をすべきと思うが、いかがか。

A 下野生活環境課長 昨

年の緊急点検で24カ所の危険な箇所という数字が出ており、そのうち14カ所については対応済みである。

Q 公共施設の建築に木材を積極的に利用していく方針が策定されたが、今後どのような施設を考えているのか。

A 藤嶋農林課長 昨年、

西滑川駅のトイレを建築し、今後は児童館、東部小学校多目的ホール、寺家小学校管理棟について考えている。

Q 児童館建てかえに伴う

スケジュールをどのように考えているのか。

A 砂田子ども課長 今年度

中に基本計画を策定したい。平成26年度には実施設計・用地選定と購入、現況測量、そして27年度には造成工事・建設工事・備品購入を行ってきたい。

Q 進めていく過程で市民ニーズをどのように把握していくのか。

A 砂田子ども課長 子育て

中の若い職員の意見、児童館運営実行委員との話し合い、児童や保護者へのアンケート、市民健康センターに來られるお母さんたちの意見も聞いていきたい。これからいろいろな段階を踏んでいくが、市民目線に立ち、市民の声を大切にして計画を立てていきたい。

一般質問



「子育て環境」の整備について

野 末 利 夫議員

Q 通学路における緊急合同総点検が実施されているが、市内において改善されたところと今後の改善予定は。

A 坂口学務課長 道路管

理者である県が実施した白線の引き直しや側溝の拡幅、車の巻き込み防止のためのポール設置、ガードレールの設置、公安委員会による信号の点

灯時間の変更、南部小学校通学路の横断歩道新設などがある。未実施の箇所については、関係機関に要望を行っており、今後現場へ足を運んで小学校との連携による合同点検調査を実施していきたい。

Q 現在、歩道設置の要望に関して何件ぐらい出されているのか。また、今後新たな歩道設置の計画はされているか。

A 岩城建設課主幹 平成24年度は7件、25年度は1件の要望がある。今後の歩道設置計画は、現状の交通量、歩行者数などを勘案し優先順位を見極め、順次整備を進めたい。

Q 幅員がなくて歩道設置ができない道路の安全対策は。

A 岩城建設課主幹 市とし

ては、早急な安全対策を実施する手段として、外側線による路肩の確保を図りたい。現在、滑川警察署等関係機関と協議している。中塚・法花寺間についても同じ方法で対応したい。

Q 歩道が設置されているところで市庁舎前、JR線の横に設置されている1メートル前後しかない歩道は、樹木があるため、また、道路も相当傷

んでおり、椅子子を利用される方にとっては、大変危険な歩道である。改善計画はないのか。

A 岩城建設課主幹 植樹

ますの破損については、確かにクラック等が入っているものを確認している。また、舗装面にひび割れ等が入っているものも確認しており、対応していきたい。

Q 24時間営業しているコンビニでAEDの設置に協力をお願いしては。

A 川崎消防署長 コンビ

ニにAEDを設置することとは、急に心臓発作などで倒れた人を救う手段としては、大変有効だと思う。設置するにあたっては店舗側の了解も必要なのうえ経費もかかる。消防署としても強制することは難しいと考えている。

一般質問



- 1 滑川市の観光について
- 2 農業の振興について
- 3 有害鳥獣対策について

原

明議員

Q ほたるいか海上観光の実績と反省、来シーズンの課題は何か。

A 網谷商工水産課長 今シーズンの実績は16日間の運航で、乗船客数は739人で昨年度と比較し19人の減となっている。今年度は、4月初旬に爆弾低気圧、中旬には寒波の襲来で気象条件が不安定な状況であったため、出航率は5割になっている。来シーズン以降の課題は気象条件の不安定さの解消、期間についても検討が必要であると考えている。

Q 運航できなかった観光客への対応は。

A 網谷商工水産課長 ほたるいかミュージアムのライブシアターで観光ビデオを上映し、ホテルイカの光を無料で見学していただいている。

Q ほたるいかミュージアムに大型水槽等の設置を。

A 久保副市長 ミュージアムのリニューアルやリフレッシュは、大きな課題であり大型水槽設置の方向で今後取り組んでまいりたい。

Q 滑川市での水稻直播栽培の状況は。

A 膳亀農林課長 市内の水稲の直播栽培の面積は、19年度34・4ヘクタール、昨年度45・7ヘクタールと増加しており、経営体別では、法人が5経営体、個人が18経営体である。

Q 一等米比率の向上と食味ランキンアップへの品質向上対策は。

A 膳亀農林課長 近年の高温傾向に対応した米の品質向上対策として、平成15年度からコシヒカリは、5月15日を中心とした田植えの実施に取り組んでいる。食味について

は栽培技術の徹底を推進していきたい。

Q 有害鳥獣による農作物への被害状況は。

A 膳亀農林課長 新川地域農業共済組合によると、平成24年度全体で、被害面積が6・7ヘクタール、被害量が42・8トン、被害額が794万円となっている。主な被害の鳥獣では、イノシシが最近増えつつあり、イノシシは0・3ヘクタールで109万円、猿が512万円となっている。



イノシシに踏み倒された水稻 (大田)

その他の質問事項
Q 市民議会の開催について

一般質問



- 1 津波対策について
- 2 児童館の改築について
- 3 耐震工事と駐車場について
- 4 スポーツ・健康の森公園について
- 5 滑川市の観光について

森

結議員

Q 本場に滑川市に津波が来るのか。

A 上田市長 にわかに出た情報で、県民、市民が皆驚いている。万が一ということに対する安全、安心の対応は揺るぎなく準備をしておかなければならない。

Q 児童館の改築は、今度市長に当選されれば、総合計画にある平成27年までに改築されるのか。

A 上田市長 やります。
Q 児童館の改築場所はサン・アビリティース滑川が最適であると思うがどうか。

A 上田市長 サン・アビリティースは建設当時の目的があり、児童館にはしない。

Q 市役所を中心に、なんでこれだけ集中して耐震工事をしなければならなかったのか。

A 成瀬施設管理課長 い

つ発生するか分からない災害に備え、公共施設については一刻も早い耐震工事をしなければならぬ。さらに有利な補助金が、平成24年度と25年度と限られており、鋭意取り組んでいる。

Q スポーツ・健康の森公園のトイレは2カ所では少ない。トイレの案内板が無い。これでいいのか。

A 長井スポーツ・健康の森公園整備室長 トイレの設置は2カ所であり、便器の数を多くしてある。また近くに体育館、サン・アビもあり規模から見てもよいと思っている。また、トイレの案内板は早急に対応したい。

Q サン・アビ横の道路の車止めは納得できない。

A 長井スポーツ・健康の森公園整備室長 自転車や人の通行は可能である。また、脱着式の車止めで、緊急の場合は取り外し車両も通行可能である。

Q ほたるいか観光のために観光船を買うのか。

A 上田市長 買いたいけれども買えない。船の維持費、オペレーターの人件費を考えると無理である(船の値段・市長は1億円、私は2億円)。

Q テレビ番組の活用で、例えばNHKのど自慢、笑点、お宝鑑定団など頼んだことはあるか。

A 網谷商工水産課長 人気番組の協議は行っていないが、今年度は市制60周年事業で、タレント柴田理恵氏の60分番組を制作して全国放送する予定であり、大きなPR効果があると考えている。

一般質問



2 1

除排雪・防雪対策の計画的な対応について
今後の企業誘致の促進について

浦田 竹 昭議員

Q 除排雪・防雪対策において、平成24年度の実績、反省を踏まえて、今年度の除排雪・防雪対策計画への反映・対応について見解を問う。

A 砂田建設部長 全体として、大きな事故もなく、おおむね順調に実施できたと考えている。ここの冬の期間においては、今回いただいた苦情や要望を踏まえて、安全で安心、快適な市民生活を確保する除雪計画を策定したい。

Q 町部の機械除雪困難地区、消雪施設設置困難地区において、河川水を利用した消流雪施設の設置、あわせて流雪水利権の取得への取り組みの提案について、見解を問う。

A 砂田建設部長 流雪溝を整備していけばいいのだが、なかなか難しい現実

況であり、水利権の取得方法も検討していかねばならないが、これもまた難しいと考えている。

Q 東加積地区で開催された市長と語る会で、地元住民から出された要望の市道大崎野旧県道線の消雪施設の整備について改めて見解を問う。

A 上田市長 この場所は、道路の傷みを含めて復旧する意味から、消雪についてもやらなければいけないということと担当に指示をしている。

Q 並行在来線の新駅設置、定住人口の拡大、雇用の拡大促進、人口減少社会等に対応して、追隨するプラスアルファの施策についての見解を問う。

A 碓井産業民生部長 製造業という雇用の枠の大きな企業を誘致すること

が一番大きな施策であると考えている。

Q 工業振興策、企業誘致活動の現状、企業誘致促進への課題・問題点、並びに企業誘致促進への取り組みについての見解を問う。

A 碓井産業民生部長 現在、企業誘致のための工業団地候補地の選定作業を進めているところである。一番大きな問題点は、工場排水の専用排水路であり、その可能箇所は、早月川、平塚川、郷川等を排水先として候補に挙げている。農振除外、利便性の高い交通アクセス、開発行為許可の取得、企業活動の利便性等を考慮した立地条件を総合的に勘案して場所の選定をする必要があると考えている。

一般質問



滑川市の災害に強いまちづくりについて問う

石倉 正 樹議員

Q 防災講演会について日程は決まったのか。

A 岡本総務課長 11月3日に予定している。東日本大震災の「釜石の奇跡」で有名な群馬大学広域首都圏防災研究センター長の片田先生を講師として招き、実施する。

Q 津波に対する施策を急ぐべきではないか。特に浸水が予想される地域を中心に。

A 岡本総務課長 今年度、県の補助事業を活用し、西部地区に避難行動の際、有効と考えられるライフジャケット、救助ロープ等の津波対策資機材の整備を行う。

Q 津波避難タワーの設置はできないか。公共の建物や民間の建造物の屋根の上に避難所の設置はできないか。

A 岡本総務課長 静岡県

御前崎、焼津市の避難タワーの報告が市職員より出ており、その必要性については今後調査研究する。公共の建物については、避難場所として寺家小学校、田中小学校、旧海洋高校の特別教室棟については高所へ避難するための外階段の整備をしている。民間の建物については、市内企業の協力のもと、緊急時の避難場所として協定を取り交わしているところもある。

Q 全市を対象として避難訓練を行うべきではないか。地域ごとに想定される災害について行う地域防災訓練、津波を想定した津波避難訓練、総合的に行う総合防災訓練など。

A 岡本総務課長 地域防災訓練については、現在自主防災組織単位並びに

地区単位において、自主的に各地区の実情に合った訓練が実施されている。市として積極的に協力、連携していきたい。

Q 防災教室を設置し、小さな子どもたちから市民の皆さんに防災に対する意識を身につけてもらいたい。

A 岡本総務課長 焼津市では消防署と防災担当課が入っている消防防災センターがあると聞いている。当市でも前向きに検討したい。

Q 総括として市長の答弁を。

A 上田市長 滑川市のためにやるべきことを示唆いただいた。全面的に何が必要かを、防災教室も含めて前向きに検討する。

一般質問



1 T P P について 2 就学援助について

古 沢 利 之 議員

Q T P P についてはこの数年、農業に限らず広い分野に影響があると指摘してきた。今、重大な局面にある。市長は反対の趣旨の答弁をしてきた。改めて見解を求める。

A 上田市長 私の気持ちは変わっていない。反対だ。

Q 農業会議、市長会を含めて、どう行動、発言されるのか。

A 上田市長 市長会での話をする者が出てくる。私がやってもいい。

Q 滑川市への影響はどうか。富山県への影響について知事は、農林水産品だけで285億円減少としている。

A 碓井産業民生部長 国の農林水産物の生産額が3兆円減少するとの試算に基づいて、県が試算したと思う。滑川市が

どの程度かというのは現時点では把握していない。

Q 就学援助の対象は、生活保護法に規定する「要保護者」と、市町村教育委員会が認定する「準要保護者」である。滑川市の「準要保護者」の認定

所得基準は、生活保護基準の1.0倍未満。県内の多くは1.2倍とか1.3倍だ。1.0でいいのか。

A 折田教育次長 平成17年度までは生活保護基準の1.5倍未満としていた。その後段階的に下げ

現在に至っている。現在の基準は適当と考えているが、今後も実態に合

せて判断していきたい。

Q 保護者への就学援助の案内をもっとわかりやすいものにすべきではないか。

A 折田教育次長 指摘の

とおり、他市と比較しても簡略で、認定基準の具体例も記載していない。今後はもっと詳細に、わかりやすいものにした

Q 「要保護」の場合は、クラブ活動費、PTA会費、生徒会費が援助の対象になる。間違いないか。

A 折田教育次長 平成22年度に制度改正があり、「要保護」については支給することになった。

Q 滑川市では「準要保護」の場合、対象になっていない。所得水準は一緒なのに援助されないのは不合理ではないか。

A 折田教育次長 クラブ活動費等については、県内市町村の半数程度がだ

しているようだが、各市町村の状況を踏まえ、今後検討していきたい。

委員会

6月定例会の委員会の審査から

6月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は6議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第45号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第1号)

▼議案第47号 滑川市の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

▼議案第48号 滑川市税条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第49号 諸収入督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

▼議案第51号 滑川市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第53号 工事変更請負契約の締結について(スポーツ・健康の森公園陸上競技場整備工事)

■産業厚生建設委員会

審査議案は4議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第45号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第1号)

▼議案第46号 平成25年度滑川市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

▼議案第50号 滑川市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◆議案第52号 不動産の取得について(雇用促進住宅上小泉・吾妻・北野宿舍)

第2回臨時会の委員会の審査から

第2回臨時会の各常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は2議案であり、原案のとおり可決及び承認しました。

◆議案第42号 工事請負契約の締結について(スポーツ・健康の森公園陸上競技場整備工事)

◆議案第43号 地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

■産業厚生建設委員会

審査議案は1議案であり、原案のとおり承認しました。

◆議案第43号 地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて

第3回臨時会の委員会の審査から

第3回臨時会の常任委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

■総務文教消防委員会

審査議案は1議案であり、原案のとおり可決しました。

◆議案第44号 工事請負契約の締結について(田中小学校改築工事)

自治会連合会との懇談会

5月27日、滑川市自治会連合会と市議会との懇談会を開催しました。連合会からは会長をはじめ17名と議会15名の出席で、市議会の定数や報酬などについて積極的に質問や意見が交わされました。

総務文教消防委員会行政視察

（5月15～17日）

◆群馬県渋川市（広域消防について）

◎渋川広域消防本部では、新規採用職員の必要人員を1年前倒し、半年間消防学校に通い、残りで分署を回り2年目から即戦力となるよう採用している。本署だけでなく管轄域内の全ての分署で勤務することによって、240kmという広い域内での業務に支障がないようにしている。

◆栃木県大田原市（基礎学力の向上について）

◎平成14年から児童・生徒が楽しみ、競い合いながら漢字の読み書きと計算の学習をするために、市独自の学習教材を作成している。

◇小学校（23校）と中学校（8校）に、2億6千万円の市独自の予算で、160名の臨時職員・非常勤職員等を配置している。

◇学習到達度調査・学習意識調査とともに、全国平均を上回り「学びの基礎力・社会的実践力」があるという結果を出している。

◆栃木県足利市（ゼロ予算事業について）

◎新たな予算を伴わない「ゼロ予算事業」を職員の新しい発想で実施することで、職員のチャレンジ精神の保持や市民サービスの向上に努めている。

◇「ゼロ予算事業」については事業効果換算額を毎年公表し、市職員の努力も評価され、事業への参加者が増加している。

◆群馬県館林市（校務支援標準システムについて）

◎群馬県では、教員のゆとり確保のため表簿類を統一した書式で作成することにより、異動する教員の負担を軽減させている。また、生徒の情報を共有できる「連絡掲示板」があり、生徒に対し全教員で注意をしている。

◇「校務の情報化に関するアンケート」で

は、システム導入による負担軽減を6割、9割の教師が実感しているという結果が出ている。

災害に強いまちづくり検討特別委員会行政視察（5月21～22日）

◆静岡県御前崎市（津波避難タワーについて）

◎御前崎市では、海抜4メートル、海岸から300メートルの地域で津波被害を受けやすい場所に津波避難タワーを建設し避難場所とした。

◇同施設は、公民館の駐車場用地に設置され、高さ12メートルでスロープもあり、最大約400人が避難できる。最上部に100人分の鎖を設置し津波にさらわれずに固定することができ。

◆静岡県焼津市（津波避難タワーについて）

◎同施設は、高さ海抜15メートルで約720人避難できる。平成25年3月までに同施設を5基設置し、平成25年度末までには市内合計20基の設置を予定している。

◇津波避難場所の確保として、市内の建物所有者に災害発生時の一時避難の受入れ要請や、現存または新設する建物に市民が津波から避難するための施設を設置する所有者に補助金を交付するなどさまざまな対策に取り組んでいる。

産業厚生建設委員会行政視察（5月25～27日）

◆鹿児島県南九州市（安心・安全な「食」の生産・供給体制づくりについて）

◎南九州市の基幹産業は農業である。「ゴーゴー運動」という「1農家50ha」「50町歩50団体」を目標に掲げており、大規模農家を育成する施策を展開している。また、『まもり5型』事業として、渇水・価格低迷・害虫・農薬飛散・自然災害の対策

に取り組んでいる。

◆肥薩おれんじ鉄道㈱（第三セクター鉄道とまちづくり）

◎平成16年は188万人が利用。24年は136万人まで減少した。交流人口拡大を目指し、営業部を設立、営業職は17名。「現状維持は衰退」との考えのもと、チャレンジすることを社員に徹底している。

◇学生を中心にダイヤ編成を実施し、利便性の向上を常に考えている。また、「我々が50円、沿線が50円儲かるWinWinで良い」との考えで、沿線の温泉宿等とも連携を強化している。

◆福岡県大牟田市（災害時等要援護者支援制度について）

◎災害時などに自分では避難や身を守ることに難しく、手助けが必要な人（要援護者）の住所や名前、体の状態などを市に登録し、その情報を支援者や地域の団体と共有し、万一の時に孤立しないようにするためのものである。

◇この制度を通して、要援護者が日頃から近所の人や地域の団体と温かいつながりを持ち、安心して暮らせるようになることを目指している。個人情報取扱いについては、協定を結び、情報共有の範囲を限定している。

◆福岡県太宰府市（太宰府の景観と歴史のまちづくりについて）

◎次の3つの計画を運動させた持続的なまちづくりである。市民遺産活用推進計画↓根拠、市景観まちづくり計画（景観計画）↓指針、市歴史的風致維持向上計画↓まちづくり事業

◇3つの計画を実施していく段階で、市民、事業者、行政など多様な主体と協働の実践が行われる。また、今日的課題であるコミュニティの再生やいきがいづくり、産業観光の振興などへの効果も期待できる。

キラリンのひとくちメモ



第3回は、誌面の都合上、お休みいたします。

議会放送と

録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、9月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（9月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。

市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。

詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-2111（内線371）

議会報編集委員

水野達夫委員長 前田新作副委員長

岩城昌巳委員 古沢利之委員

中川 勲委員 野末利夫委員

6 月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件 名 及 び 提 出 者	処 理 結 果
① 議員提出議案（2 件）	
1 議員提出議案第 6 号 地方財政の充実・強化を求める意見書 滑川市議会議員 開 田 晃 江 外 5 名	 本会議結果＝可決
2 議員提出議案第 7 号 滑川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について 滑川市議会議員 高 橋 久 光 外 9 名	 本会議結果＝可決
② 意見書提出要請（1 件）	
1 地方財政の充実・強化を求める意見書 滑川市議会議員 水 野 達 夫	 議会運営委員会一致 (議員提出議案第 6 号へ)
③ 要望書（2 件）	
1 違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書 井 田 敏 美	 全議員へ参考配付
2 母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望 西 村 麗 子	 全議員へ参考配付

6 月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等	採 決 結 果
◎議案第45号（分離採決） 平成25年度滑川市一般会計補正予算（第 1 号）	 原案可決（賛成多数） 賛成者＝水野・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋 反対者＝高木・森・前田
◎議案第47号（分離採決） 滑川市の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	 原案可決（賛成多数） 賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田 反対者＝水野・古沢・森
◎議案第52号（分離採決） 不動産の取得について	 原案可決（賛成多数） 賛成者＝水野・岩城・石倉・古沢・浦田・開田・中川・野末・森・高橋 反対者＝高木・原・中島・前田
◎議案第46号、議案第48号～議案第51号まで及び議案第53号 平成25年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） 外 5 件	 原案可決（賛成全員）
◎議案第54号 滑川市監査委員の選任について	 原案同意（賛成多数） 賛成者＝水野・高木・原・岩城・石倉・中島・古沢・浦田・開田・中川・野末・高橋・前田 反対者＝森
◎議員提出議案第 6 号 地方財政の充実・強化を求める意見書	 原案可決（賛成全員）
◎議員提出議案第 7 号 滑川市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	 原案可決（賛成多数） 賛成者＝高木・原・岩城・石倉・中島・浦田・開田・中川・高橋・前田 反対者＝水野・古沢・野末・森

第 2 回臨時会での結果について

議 案 内 容 等	採 決 結 果
◎議案第42号～議案第43号 工事請負契約の締結について 外 1 件	 原案可決・承認（賛成全員）

第 3 回臨時会での結果について

議 案 内 容 等	採 決 結 果
◎議案第44号 工事請負契約の締結について	 原案可決（賛成全員）